

科目ナンバリング		U-LAS04 10001 LJ47									
授業科目名 <英訳>		教育学Ⅰ Pedagogy I				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 久保田 健一郎			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
本授業は、学校教育を軸として、近代以降の日本の教育の概観、学校教育を支える思想やその歴史、現代の教育の諸問題を学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することが可能になる。											
[到達目標]											
・日本の学校教育についての歴史と現状を理解する。 ・学校教育を支える思想、歴史を理解する。 ・学校教育に関する現代的諸問題とその背景について理解する。											
[授業計画と内容]											
基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。 1．教育とは何か 2．日本教育小史 - 前近代から近代へ - 3．日本教育小史 - ポストモダンにおける教育 - 4．教育必要性について 野生児の事例の紹介 5．教育必要性について 野生児の事例の考察 6．近代教育の思想 7．子ども観の歴史とこれから 8．子どもたちの力学 - スクールカーストの事例から - 9．子どもたちの力学 - スクールカーストの考察 - 10．ゆとり教育の理念と実際 11．学力とは何か 12．乳幼児の教育 13．現代の教師 14．新自由主義と教育・諸外国の教育の動向 15．フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します） 授業回数はフィードバックを含め全15回とする											
[履修要件]											
特になし											
----- 教育学Ⅰ(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----											

教育学Ⅰ(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出と授業への参加度に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。
レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

【教科書】

PandAに授業資料を提示します。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

【その他（オフィスアワー等）】

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、小レポートを織り交ぜた授業になります。